



# 社協那加一

編集・発行

各務原市社会福祉協議会  
那加一支部  
支部だより編集委員会優勝 南洞（打数一四六）  
準優勝 桐野南（打数一四七）  
三位 前野A（打数一五一）

地域ぐるみで  
福祉の心を育てよう

小雨を吹きばす熱戦!!

第七回老人クロッケー・ゴルフ大会

十一月十三日新加納日吉神社境内で、那加一小学校区各町内より十五チーム参加し実施しました。当日は朝より小雨で、大会開始当時も雨が降ったり止んだりで迷いましたが、大部分の選手がお集まりで雨具も準備されていたので実施にふみきりました。

各チーム小雨にも負けず熱戦がつづきよく奮闘されました。

当日の成績は次のとおりです。

優勝 南洞（打数一四六）  
準優勝 桐野南（打数一四七）  
三位 前野A（打数一五一）



▲優勝した南洞チームの皆さん



▲那加保育所の子どもにレイをかけられ思わずニッコリ

十月九日那加西福祉センターにて、ひとり暮らし老人二十余名と、社協役員・民生委員・女性会議役員等あわせて三十余名の参加で盛大に実施いたしました。

当日は那加保育所園児全員五十余名と、那加一小児童一年生百余名の参加をいただき、園児は、昔なつかしい童謡にあわせ老人の肩たたきや、園児の作った首飾りを老人にかけ、那加一小児童は、「おばあちゃん今日は」より始まり、頭に星をつけ「キラキラ星」の寸劇を上手にやり、お年寄りを慰め励ました。独居老人もしばし童心にかえり、なごやかな交流を深めました。昼食は民生委員・女性会議の方々に作つていただきました、手づくりの心のこもった料理に舌つ

## ひとり暮らし老人を囲む会

子どものやさしい心が何よりのプレゼント

づみをうちました。その後支部長・来賓の挨拶や激励の言葉をおくりました。

午後一時三十分より、那加楠町の東京腹話術研究会会員の島田三那加さんをお招きし、夕やけ小やけにあわせた「ゴロちゃんの腹話術」「コミックス手品」をみせていただき、見事な技能、すばらしい手さばきに一同感動し驚かされました。

## 社協那加一下半期事業報告

- |                        |           |
|------------------------|-----------|
| 個人                     |           |
| 優勝 石田和子（打数一一）          | 十一月十三日    |
| 準優勝 三宅義雄（打数一二）         | 十一月二十六日   |
| ○第二回三世代ふれあいクロリティ大会     | 十一月二十二日   |
| ○歳末福祉座談会               | 十一月二十六日   |
| ○高齢者健康づくり教室            | 十二月三日     |
| ○友愛訪問の実施               | 十二月十八日十九日 |
| ○第三回理事会                | 三月四日      |
| ○平成九年度支部社協事業報告・収支中間報告等 |           |
| ○第二回支部総会               | 三月十三日     |
| ○「社協那加一」第二十号発行 三月十五日   |           |

独居老人津軽三味線民謡を聞く会に招待



### ▲津軽三味線の演奏に聞きいる

十月八日午後那加一小体育馆にて、津軽三味線民謡を聞く会が持たれました。この会に学校の好意により那加一校区の独居老人が招待され二十名余り参加しました。

演奏者は、一九九四・九五年と連続全国大会で優勝された神谷繁良さん夫妻です。神谷さんは愛知県稻沢市にお住まいで奥さんは青森県の出身で、国内は勿論海外でも演奏されております。

当日は、「津軽ジヨンガラ節」「あいや節」など数曲を演奏され、夫妻の名コンビ、見事なバチさばきと歌声を披露され、全校児童や老人を魅了し、惜しみない拍子をおくりました。

## 初めての手話

那加一小手話體驗學習

手話の体験を通して、手話で話している人の不自由さが分かり、困っている人の気持を察し、進んで手助けしようとする心を養うことをめあてとし、十月十六日午後那加一小体育館にて、石山つ子集会の場で全校児童を対象に行いました。

講師に那加山後町にお住まいの牧田縁さんをお招きました。牧田さんは極めて上手に指導され、簡単な初步的な「ぼく・あなた」「こんなことは」「お早ようございします」「月火水木金土日」「東西南北」などを教えていただき、一年生より六年生まで短い時間でしたが、楽みながら奥深く勉強しました。

## 輪投げで交流会

社協と青少年育成共催の、那加第一小学校第  
二回三世代ふれあいクロリティ大会は、十一月  
二十二日那加第一小学校体育館で行いました。  
クロリティとはスポーツ輪投げのこと、大  
会には約二百人が参加しました。小学生・中學  
生・成人・高齢者各二人の八人でチームを作り、



### ◆優勝の新田町Bチーム



優勝 新田Bチーム  
(二八〇点)  
準優勝 野畠チーム  
(二六八点)  
三位 長塚チーム  
(二六二点)

計二十一チームが出席しました。触れあいと親ぼくを深めながらゲームを楽しみました。当日の成績は次のとおりです。

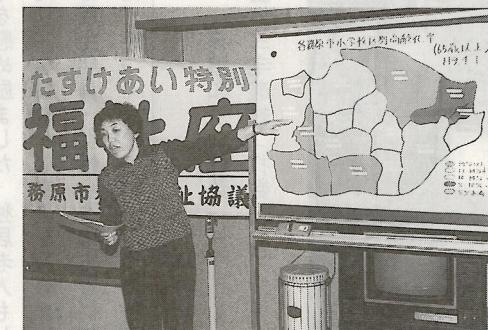
友愛訪問

いつまでもお元氣で  
友 愛 訪 問

高齢者の中には九十歳を過ぎても、元気で自分の趣味を生かし、健康づくりや体力の維持に励んでいらっしゃる姿も拝見しました。

九十歳以上の高齢者二十二名の中、男性は五名女性は十七名でした。最高齢者は、男性は山下町の宮崎浅次郎さん、明治三十六年生まれの九十四歳。女性は新加納町の今尾コウさん、明治三十三年生まれの九十歳でした。

# 歳末福祉座談会



#### ▲講師の佐分さんから高齢化の現状を聞く

六ランク毎に受けられるサービスの上限が設定されており、それ以上を望めば、その分は自己負担となります。

在宅、施設サービスのどちらを望むかは本人の希望によりますが、施設に入る場合は要介護認定II以上に認定されなければなりません。

六十五歳以上の第二号被保険者の保険料は、約七割が年金から自動的に天引きとなり、残る三割は市町村が個別に徴収します。四十歳から六十四歳までの第二号被保険者については、各医療保険制度の保険料に上乗せされるため、サラリーマンなどは月給から天引きされることになります。

つづいて、前田支部長より、二、〇〇〇年より実施される公的介護保険の要点について説明がありました。

公的介護保険の、介護サービスの対象となるのは、①入浴・排泄等の日常生活について介護を必要とする者「要介護状態」②要介護状態にならないたためにサービスをうけることが必要な「要支援状態」にあるものとなっています。ただし、四十歳から六十四歳までは、脳卒中、初老期痴呆などの老化に伴う障害に限られています。

サービスを受けたい場合は、①本人か家族が、要介護認定の申請書を市町村に提出します。②申請が出されると、市町村の調査員が家庭を訪問し、全国共通の調査票をもとに「食事は自分でできるか」「寝返りはできるか」といった日常生活について直接でチェックし、調査票を作ります。③調査票と主治医の意見書をもとに、医師や保健婦らからなる「介護認定審査会」(市町村に設置)が全国一律の基準をもとに、要介護状態に応じて六ランクに分けます。認定結果に不服がある場合は、都道府県に設けられる不服申し立て機関に審査請求を行ふことができます。

十一月二十六日はあいにくの悪天候でしたが、那加西福音センターにて、ねたきり老人介護者、ひとり暮らし老人・高齢者夫婦・社協役員等三十数名出席し、講師につつじ苑内にある在宅介護支援センターの佐分和恵さんを招いて実施しました。

最初に佐分さんより在宅支援センターのはたらきについて、在宅支援センターとは、在宅介護に関する総合的な相談に応じ、市の窓口に行かなくて

も必要なサービスがうけられるよう連絡調整をするところ。またお年寄りの介護についての心配ごとや悩みごとを抱えている家族の方など、だれでも相談ができるところです。

現在市内に三ヵ所あり、那加一校区は稻羽大佐野町にある特別養護老人ホームつじ苑内に在宅介護支援センターが受け持つ区域になっていまます。